

【 第 1 回中標津町自治推進会議報告 】

日時：平成30年12月17日（月）19:00～20:45

場所：中標津町役場 3階 301号会議室

出席者：13名（中標津町自治推進会議委員7名、ファシリテーター1名、事務局5名）

<会議次第>

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

- （1）前回までの振り返り
- （2）意見交換
- （3）今年度の自治推進会議について
- （4）まとめ・振り返り
- （5）その他

4 閉 会

<配付資料>

- ① 平成30年度第1回中標津町自治推進会議次第 [省略]
- ② 「自治推進会議のルール」 [省略]
- ③ 平成29年度自治推進会議の振り返り [別途掲載]
- ④ まちづくり町民アンケート（設問抜粋）問61・問62 [省略]
- ⑤ 自治の基本原則 [別途掲載]
- ⑥ 自治基本条例・自治推進会議2021年度（平成33年度）までのスケジュール [省略]
- ⑦ 中標津町自治基本条例（条例抜粋）第37条・第38条 [省略]
- ⑧ 広報掲載記事「中標津町自治基本条例を学ぼう！（その1～その11）」 [省略]
- ⑨ 数字で見る中標津町自治基本条例の運用状況（平成29年度分） [省略]

<会議結果報告>

1 開 会

2 挨 拶：佐々木会長

※議題に入る前に事務局より、6月に行った委員公募結果についての報告（結果：応募なし）、と4月の人事異動により新しく事務局となった職員の自己紹介がありました。

3 議 題 ～議題順番について一部変更しての進行となりました。順番は下記のとおり。～
[進行：東田ファシリテーター]

(1) 前回までの振り返り

◆配付資料を参照しながら、これまでの会議内容の振り返りを行いました。

○ 自治推進会議のルール

活動のルール (1-3)

～会議では、委員それぞれが立場を超えて「中標津町自治基本条例」について考え、
議論する場とし、その結果を町長に提言する。～

○ 平成 29 年度自治推進会議の振り返り [[資料③ \(別途掲載\)](#)]

○ まちづくり町民アンケート [設問抜粋] 問 61・62

▼ 事務局より、同設問の平成 30 年度集計結果速報値について補足説明。▲

○ 自治の基本原則 [[資料⑤ \(別途掲載\)](#)]

○ 自治基本条例・自治推進会議 2021 年度 (平成 33 年度) までのスケジュール

○ 中標津町自治基本条例抜粋 第 37 条 (条例の見直し)・第 38 条 (中標津町自治推進会議)

○ 中標津町自治基本条例を学ぼう! (その 1～その 11)

○ 数字で見る中標津町自治基本条例の運用状況 (平成 29 年度分)

⇒ 委員より

- ・平成 29 年度は、アンケートの実施が多かったのでは?
- ・まちづくり町民アンケートも回収率が、
2～3 割なのに、病院に関するアンケートでは、
50%を超えていて、すごい。

▼ 事務局より補足説明 ▲

平成 29 年度は、各種個別計画の策定があり、
それに伴うアンケートの実施もあり、例年に比べて
多い状況となった。

(2) 今年度の自治推進会議について

⇒ 東田ファシリテーター

昨年度の最後の会議の時に、「来年度は、周知活動や平成 33 年度までのことを具体的に
決めていこう」とした来年度が今日なので、これからその話し合いができればと思います。

(3) 意見交換

◆これまでの内容を踏まえて、今年度どうするか? どう思ったか? この後どうするか?
など意見交換を行いました。

会議スケジュールのこと

⇒ 委員より

- ・昨年度は3回だった。今年度は？今日まで空いた理由は？次年度は何回予定しているのかそのことをある程度把握してスケジュールをつくらないと、今回のように振り返りばかりしていても前には進んでいけないのではないかと思います。
- ・時間が空いたら忘れてしまうので、定期的開催できればと思う。
- ・前回までの内容も、ほぼ忘れてしまっている。3～4ヵ月に1回とか、大体何月頃にやるとか決めることができれば良い。
- ・会議が冬に集中してしまうことや、空白期間となると何もできていない自分があるので、2～3ヵ月毎程度にコンスタントに集まって、次の集まりまでの間に、みんなに知ってもらうことに向けて何かするなどできれば。
- ・来年以降は、定期的にやった方が良いと思う。

まちづくり町民アンケートのこと

⇒ 委員より

- ・ボランティア参加の設問で数字が増えたことは、素晴らしいと思う。
ボランティア活動が浸透してきたのか、強制的?!に参加しているものなのか、疑問にも思った。
- ・ボランティア参加について、平成29年度、平成30年度で数字が増えているが、アンケート自体の回収率はどうだったのか知りたい。

～まちづくり町民アンケート～

〔問61〕あなたの地域活動ボランティアへの活動への参加状況と、今後の参加意向は？

▼ 事務局より、平成30年度のまちづくり町民アンケート回収率について補足説明。▲

- ・ボランティアをやっている人が増えたということか。ボランティアをやっている人にたまたまアンケートが送られて、答えているということかもしれない。
- ・ゴミ拾いのボランティアは年々増えていると思う。
- ・高齢者サロンの数も増えた。サロンが増えたことで、そこにはボランティアがつくので、増えているのでは。
- ・社協のボランティアの数自体は増えていない。横ばい。
- ・社協のボランティアの数が減らずに横ばいであることは、すごいのでは。

広報紙掲載「自治基本条例を学ぼう！」のこと

⇒ 委員より

- ・広報紙の「自治基本条例を学ぼう！」についての反響はどうか、気になる。活字だけだとなかなか入りづらい。タイトルを柔らかい表現にしたらどうか。
- ・町長が仰っている『住みやすさNo.1のまち』をつくるために！とか、インパクトのあるタイトルにすれば、読む人が増えるのでは。これまでせっかく継続してきているので、読んでいただきたいと思います。

フェイスブックのこと

⇒ 委員より

- ・前の会議の中で出ていたフェイスブックの件はどうなったか？
- ・町としてのアカウントもある。共同でアカウントを持ってやることもできるのでは。そのことは、宿題だった。

⇒ 東田ファシリテーター

投稿する内容は、会議のメンバーが何をしているのではなく、自治推進会議そのもので何をやっているかということでは。

自治基本条例のこと

⇒ 委員より

- ・前回の自治推進会議を5年間やった時には、諮問で、特に条例を変えることはなかったが、10年経てば、たぶん変えるところも出てくるのでは。
- ・中標津町の後に自治基本条例をつくったところもあるはずなので、進んだところの事例を見て「あっ、ここが足りないところ！」ということを確認していく事はだろうか。
- ・中標津町の自治基本条例をつくる時にも、川崎市やニセコ町などを参考にした。
- ・2011年には、これ以上ない条例をつくったが、「あ～こんな考えはなかった」ということが出てきそうな気がする。

自治推進会議のこと

⇒ 委員より

- ・町のホームページに出ている、これまでの自治推進会議の内容を振り返ったが、次回に繋げるためには、『今期が大事』と話していた。それを、きちんとやっていかないと、ダメになってしまうのではと思う。

[会議風景]

⇒ 東田ファシリテーター

前期は入り口だった。

⇒ 委員より

- ・これまでの自治推進会議で話し合われたことが、ホームページに載っていることは素晴らしいこと。
- ・自治推進会議の目標は、自治基本条例を町民に知ってもらうこと。周知をして知ってもらう。それから、行政や議会や町民が、自治基本条例をきちんと守ってやっているかをチェックする。それによって、町長に対して、条例がこのままで良いのか、直したほうがいいのかどうなのかについての話をしなければならない。



⇒ 東田ファシリテーター

順番としては、3段階になっているということ。

⇒ 委員より

- ・そのような気がするが、第1段階として広報紙で周知を始めたが、問題は、広報紙での周知それだけで良いのかということ。
- ・子ども向けの絵本とか、演劇とかは？
- ・前の時（平成28年）は、イベントをやったが好評だった。「とても良かった」と皆さんから聞いている。町民を巻き込むイベントをすることは大変であるし、1回で終わってしまうので、講座とか会議とか、話し合いができれば。町民会議のような集まりがあって、いろいろな団体から『こんな問題がある』などの話し合いができたらと。そうすることによって、自治基本条例が少しずつ浸透していくのではないかなと思う。

⇒ 東田ファシリテーター

（平成28年のイベント）『自治ってなんだ??これだ!!』は、ものすごく受けました。その時は、ワールドカフェもやりました。

★東田ファシリテーターより、

ワークショップの一つ「ワールドカフェ」について解説がありました。

～ワールドカフェ～

基本的に3回まわる。好きなところを3回まわる。参加人数によってグループの数が変わる。グループ毎に違う話をする。そこで何が話し合われたかを模造紙に書く。時間も10～15分と決めて、時間を計る人がいて、「チェンジです」と言うと、別なグループに異動する。各グループには必ず班長が残るので、何を話しているかを教えてくれる。好きなところに行って、好きなことを好きなように話してくる。

⇒ 東田ファシリテーター

当時、中標津町では、ワールドカフェをやったことがなかったので、「やってみたい」との希望があって、「やってみますっ」ということになった。その効果も、少しあったのではと思っている。とても受けました。

⇒ 委員より

- ・あの時のようなことができれば、もっともっと楽しく広がるのではないかなと思う。

町内会のこと

⇒ 委員より

- ・自治推進会議の目標に、条例を周知するというものの他に、町内会の加入率を上げることがあった。
- ・今の自治基本条例の課題として話をしていたが、町内会のことが含まれていることが自慢の自治基本条例なのに、年々町内会加入率が下がっているという状況がある。

⇒ 東田ファシリテーター

自分もこの 10 ヶ月間いろいろと勉強したが、町内会活動がうまく進んでいるところは、そもそも町内会加入率が高いとか、加入率を上げるきっかけがあるとか、ポイントがある。中標津町の場合は、残念ながら、そのポイントになりそうな時期がこの 2 年間の中ではなさそうなので、じゃあ、どうしていくかということの課題にはなると思う。劇的な変化はないけれど、何かしら変えていきたいということでは。

⇒ 委員より

- ・ 2 年間の中で意見交換会のようなものができればと思う。勉強会とか。
- ・ 農業高校の入学希望者も増えていると聞く。なくなりそうだった学校が盛り返してきている。取組次第では町内会の加入率も上がるのではないかととも思う。期待を込めて発言したい。
- ・ 町内会の加入については、何かメリットがないと……。そこだと思う。
- ・ なくなった時のデメリットのほうが大きいと思う。なくなった時どうになってしまうかということを考えないといけないと思う。
- ・ 町内会でやっていることが、町内会がなくなると、全部消えてしまう。
- ・ 自治基本条例を考える時もそうだが、町内会がなくなった時のデメリットをもっともっと開示していくべきでは。それを阻止するためにも自治基本条例があるのではないかととも思う。

★佐々木会長より、上川管内東川町の事例について紹介がありました。

東川町では、自治基本条例をつくり、その中に「自治振興区」の組織をつくった。町内会の上部組織として。そこには、行政からお金も出し、人も配置して、そこから町内会へと繋がっている。条例をつくった時に規則もつくった。
まちづくり条例があって、その中に具体的にになっている。
自治振興区があって、区長がいて、その下に町内会がある。町内会の集まりがあってそこに区長がいて、自治振興区がある。

⇒ 東田ファシリテーター

条例は理念としてあって、規則によって具体的に動いているということ。具体的に動けるための規則があるということ。規則があるから具体的に動ける。

⇒ 委員より

- ・ このような事例を噛み砕いて勉強するのはどうか。
- ・ 中標津型をつくっていけば良いのでは。

⇒ 東田ファシリテーター

そういうことをきちんと話し合って、条例は条例として変えないとしても、プラスアルファの大事なところをつくったらどうだろうということを話し合う。ただし、話し合うことはできるけれど、ここ（自治推進会議）がつけることができる訳ではない。案までは、できるけれども。そこは、はっきりさせておかなければならないです。

⇒ 委員より

- ・今年度の1回は、まずそのことを勉強してはどうか。
- ・東川町の事例だけでなく、ニセコ町の事例についてもどうか。牧之原市も。
- ・中標津町の自治基本条例の名称に「まちづくり」と入れると良かったのかもしれない。
- ・条例をつくった時には、あえて外した経緯がある。

★東田ファシリテーターより、

静岡県牧之原市の事例について紹介がありました。

静岡県牧之原市は、日本で一番住民自治が進んでいるまちと言われている。

2つのまちが市町村合併をする時に、町内会側との意見交換をたくさん行い、「自治区」を10区に分けて、自治区長を設けて、そこに予算も確保した。更に「市民ファシリテーター」というファシリテーターの登録制度をつくり、希望者は市に登録する。自治区で話し合いをする時には、市民ファシリテーターが、自治区長からの依頼と自治区からの予算で派遣される。町内会ではなく、自治区の話し合いの中には、市民の中からファシリテーターの役割の人が参加して、その人が司会進行を行うという仕組みになっている。

～町内会がしっかりして来ると、より自治は進むのではないかとやっぱり思います。NPO活動もあるけれど、ベースは町内会で、そこがしっかりしてくると良いと。

牧之原市が優れていると思うのは、「町内会は現状のままで良い」としたこと。このことを一回認めないと、次のステップに進めないと、はっきり市側はもちろん、市民活動団体も思っていることです。そこを変えようとは思わずに進めたということが、1つポイントではと。そこを否定されてしまうと、これまで頑張ってきた人達が「じゃあ、やめる」となってしまうので、それはそれで良しとして、町内会の上の組織としての自治区には、また違う人達が参画して、それぞれを行き来する仕組みにしたことではと個人的には思っています。

町内会は町内会として今のままで良く、その上に自治区をつくったこと。ポイントは町内会であるも、既存の町内会を変えようと思いつめるのはつらいこと、と牧之原市のヒアリングをした時にはそう思いました。～

⇒ 委員より

- ・まちづくりとCSが連動すれば一番なのは。
- ・CSをすることによって町内会への加入が、もしかしたら増えるかもしれない。相乗効果で。

★鳴海委員よりCSについて解説がありました。

～CS～

CSは、コミュニティスクールのことで、学校、家庭、地域で、子ども達を育てる。中標津町は、小中のみ。高校についてはまだない。

⇒ 委員より

- ・教育委員会での集まりで、「地域学校協働本部」というものを組織していて、今年度は3回研修会を行っている。地域の側から学校へ協働していく、関わっていくというもの。そこでは校区についての話し合いもしている。
小中一貫校に向けて、中学校区でまとまっていこうとの方向性になっているが、果たしてそれで良いのかどうかとの話し合いをこれからしていこうとしている。
- ・中学校区でいこうとすると、町内会がその区域では切れてしまって話が合わなくなってしまうこともあるのでは。
- ・町内会の区割りと学校区とまちづくりでの区分けがバラバラだと線引きが全部違う。うまく連動できれば良いが、今はバラバラな状況では。
- ・それぞれで今まで思っていた区域と違うとなると、それはそれで問題が生じるのでは。
- ・逆に今がチャンスなのでは？町内会の人数が減ってどうしようもない状況であれば、他のところと「合併したい」という意見も出てくるかもしれない。
- ・町の中心部はそうかもしれない。
- ・実際そうしたいとの声も聞く。

条例の成果のこと

⇒ 委員より

- ・行政や議会がきちんと自治基本条例を守ってやっているか、成果が出ているか、ということについて見ていく必要がある。
- ・2年間のうちで、他のこととも同時期にやっていかなければならない。
- ・民間側でもやるけれど、行政側や議会側でもやってもらい、そのことについてお互いに話をし、「どうなっていますか？」「意見を聞きたいんですけど・・・」「困っていることはないですか？」のような話し合いをすることができればと思う。

[広報掲載「自治基本条例を学ぼう！」の反響について…]

⇒ 委員より

- ・アンケートをとるのはどうか？
- ・タイトルはやっぱり変えた方が良いと思う。

★東田ファシリテーターより、次の会議まで、

各委員が自分の周りの人に聞いてくることについて提案がありました。

↓

「中標津町自治基本条例を学ぼう！」を知っているか？

知っていれば、どうだったか など、聞いてくることとなりました。

[フェイスブックはどうなったか？について…]

⇒ 委員より

- ・前回の会議では、物理的にはつくれるけれど、つくってもよいのかという課題が出て、会議は終わったはず。「？」が出て終わったはず。
- ・誰がつくって、誰が管理するか？ということでは。
- ・他の SNS ではできないか？やっていない人もいるか。
- ・自治基本条例でのフェイスブックで、そこにいろいろなデータなどが載っていれば、役に立つのでは。
- ・投稿することは自分達でもできるが、管理することが課題になる。
- ・ダメならダメで、役場側で一度検討して欲しい。

⇒ 東田ファシリテーター

自治推進会議で、役場側がつくるとなると、ずっと企画課が管理しなくてはならないかもしれない。そのことを含めて検討必要では。要検討。

[今年度の会議について…]

⇒ 東田ファシリテーター

今年度何をするかということで、今まで出た意見では、今年度勉強会をやりましょうということと、会議は定期的にやりたいと思うので、今年度は仕方がないにしても、来年度と再来年度はそれを考えていくということで、今年度できちんとイメージを考えようということ。2年間を決める年度にする。

今年度は、勉強会とあとの2年間の組み立てを考えること。

⇒ 委員より

- ・前の時は、イベントの開催のために部会を設けて集まる回数を増やした経緯がある。

◆次回以降の会議日程について話し合いました。

今年度は、2 回目が 2/18（月）、3 回目が 3/12（火）にそれぞれ決定しました。

⇒ 東田ファシリテーター

事例の勉強会については、できるだけ委員で共有できるように、資料を紙で持ってくるか、会議報告の時点で、役場側できちんと内容を取りまとめてもらって、議事録というよりは、勉強会をした中身が分かるようにしてもらうことでは。

自治基本条例をつくった時は、いくつか他のまちの条例を持ってきて、ここが優れているなどの検討をして、どうするか？ということをやりました。

⇒ 委員より

- ・今年度は、他の条例を見るだけでも。
- ・他のところの条例を見て、「中標津町にはこの条例はないね」ということを確認できれば、また来年度に繋がるのではと思う。

町立病院のこと

⇒ 委員より

- ・資料の「自治基本条例の運用状況」の中の町立病院に関するアンケートは、医療講演会の時にあったアンケートとは違うのか？
- ・町内会への加入者を増やすことも大事だが、町立中標津病院の利用者を増やすことも大事と思う。医療講演会では「癌でも町立病院で対応できますよ」という話を聞いたので、釧路など町外へ患者が流れてしまうことを食い止めることができたのかなど。その数はどうなのかなど。
- ・病院を盛り上げることも、大事ではと思う。
- ・病院部局との話し合いができれば。
- ・アンケート内容は気になる。

(4) まとめ・振り返り

⇒ 東田ファシリテーター

今年度は、今日を入れて 3 回。次の会議は、2/18 と 3/12 で、勉強会と 2 年間の組み立てをすることでよろしいでしょうか？

2 年間の組み立てでは、会議を定期的に関くことや、会議のイメージをきちんと整理することで、2 年間の組み立てをきちんとやりましょうということです。

◆2 年間の組み立ての中の「何をやるか？」ということに関連して、

ホワイトボードに書かれている [来]・[来考] 箇所の内容を確認しました。

来 2年間を決める

来 守ってやっているか？チェック : 自治基本条例を守ってやっているかのチェックを
↓
しよう。

来 行政・議会の成果 : 民間側だけではなく、行政・議会側もこれまでにきちんと守ってやっているか、その成果をチェックしよう。そして、病院を含めて、役場の部局の人との話し合いをしたい。

来 他の地域の進行や状況を知りたい : 他の地域の自治基本条例やまちづくり条例がどのように進行されているか、変化しているか、進行状態も含めて知りたい。

来 「学ぼう」をやわらかい表現にしたい : 広報に掲載している「中標津町自治基本条例を学ぼう！」のタイトルを、より柔らかい表現にしたい。もっと町民の方に分かってもらいたいのので、変えることができれば。

来考 区割りについて : まちづくりや学校区や町内会などの区割りと、これから更に勉強をしていくことで、考え方として入っていくかもしれない「自治区」のような区割りについて、整理をすることや、考えていくことができれば。※このことは、できるかどうかはまだ分からないため、「来考」とする。

来 意見交換会について : 団体や団体の種類毎で集まるなどして、「町内会加入率を増やす」ということを議題にしての意見交換会や勉強会ができれば。

◎ フェイスブックに関しては、役場の方で検討して欲しい。

→ 事務局にて要検討。

◎ 「中標津町自治基本条例を学ぼう！」の反響について

→ 次回会議までに、各委員が自分の周りの人に聞いてくることに。

(5) その他

事務局より、次回会議日程について確認しました。

※第2回 平成31年2月18日(月) 中標津町役場 会議室 で開催予定。

4 閉会